

春うらら 富士山の伏流水湧く三島へ

日時：2023年3月19日（日） 晴 やや健 27000歩 17km

集合：JR三島駅南口改札9時15分

コース：三島駅→白滝公園（ストレッチ、コース説明）→源兵衛川→蓮馨（れんけい）寺→旧東海道→清住緑地→丸池公園→滝田川公園^{（水）}→柿田橋→徳倉橋→本城山公園^{（水）}（標高76m 昼食）→徳倉橋→中郷（なかざと）温水池^{（水）}→源兵衛川→旧東海道→三嶋大社→文学の道→菰池公園（クールダウン）→三島駅（16時解散）

参加者：市村L 熊坂SL 河野SL 勅使河原 清水 丹後 高橋友 内海 及川 鈴木宏 宿澤 11人

三島市を歩くといたる所で湧水を見ることができます。この湧水は、三島溶岩流の中を流れて湧き出ています。三島溶岩流は、約1万年前に富士山が噴火して溶岩流が現在の三島駅周辺まで流れてきました。水をよく通す性質を持っていることから、富士山や御殿場などで降った雨水が地下にしみこみ、溶岩流の中を「水の道」として下流に向けて地下水が流れ、楽寿園の小浜池や柿田川の源流などで湧き出ています。

この日多くの湧水をめぐり、湧き出る水の生命力と澄んだ水の美しさ、流れるせせらぎの音と川面に吹く風を堪能。全長1.2kmと日本一短い一級河川柿田川の源流から、狩野川への合流地点まで全踏破。もう1本源兵衛川、源流の楽寿園から終点の中郷温水池まで全踏破。1日で2本の川を踏破してしまいました。

気象庁が14日、東京の桜（ソメイヨシノ）が平年より10日早く開花と発表。横浜も翌15日に平年より10日早く開花。この日もシダレサクラ、山桜、桃、アイリス、ユキヤナギ、桃、ペチコート、ホウセンカ、ボケ、カラーなど色とりどり花を楽しみ、春の息吹を感じながらのウォーキングとなりました。



三島駅 9時10分～白滝公園～小浜の道～源兵衛川源流～飛び石歩き

集合はJR三島駅南口。駅舎は、富士山と三嶋大社をイメージした造りで「中部の駅百選」に選定されています。西隣に伊豆箱根鉄道三島駅舎、JRと伊豆箱根鉄道の線路は繋がっており特急踊り子号が修善寺駅まで運行しています。湧水の街三島らしく駅前にも湧水池があります。渋谷・新宿行き高速バスと河口湖行き高速バスが運行していました。9時10分スタート、少し下って白滝公園で河野サブリーダーのリードでストレッチ、市村リーダーがコース説明。公園の一角に井戸水を汲み上げるモニュメントがありました。小浜の道へ、楽寿園の中が源兵衛川の源流。源兵衛川に入り、水辺の中の飛び石の上を歩きます。



源兵衛川水辺歩き～蓮馨（れんけい）寺～旧東海道～三島広小路駅前

先頭を歩く熊坂サブリーダーと清水さん、3番手が勅使河原さん、後ろは全員女性。この日の参加者で男性は私と勅使河原さんの2人のみ。川辺を出て橋を渡り、再び川辺へ。源兵衛川を出て蓮馨（れんけい）寺境内を抜けて旧東海道へ出ました。伊豆箱根鉄道三島広小路駅前を通り、東海道五十三次ミニ体験。



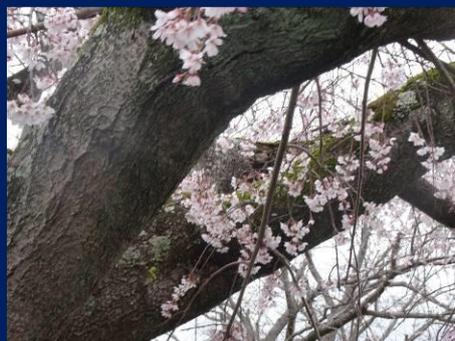
清住緑地 木道歩き アイリスの花 水面に鴨 ボコボコとあふれ出る湧水

旧東海道を左に入り住宅地から下って10時05分、清住緑地に着きました。緑地は市街地の中にある遊水地で、境川が刻んだ谷の中に富士山の溶岩流の中を通ってきた地下水が湧き出しています。境川は、かつて駿河国と伊豆国を分けた境界でもありました。木道の上を歩きます。白い花が咲いています、どなたかが「アイリスよ」と教えてくれました。木道の上で10人勢ぞろいの写真を撮りました。展望処でみなさん水面を見つめています。視線の先に鴨がいました。石で丸くかたどられたところからボコボコと音を立てて湧水があふれ出ていました。木道の上を等間隔で歩きます。



丸池公園 早咲き桜～ショッピングセンター通り～10時35分 柿田川公園

清住緑地を歩き隣接する丸池へ。ここでお菓子の差し入れなどがあり水分補給とこの日初めての小休憩。休むと少し肌寒い感じ。広い池は農業用貯水池で水を満々と蓄えています。水面には沢山の鴨が、池の中に架かる橋を渡り対岸へ、池の真ん中に祠が祀られています。池端の桜は早咲き桜の種類なのでしょうか、淡いピンク色の花びらが5分咲きほどになっていました。池を出て清水町運動公園とサントムーンショッピングセンターの間の交通量の多い道を南へ。国道1号の交差点の横断歩道を渡り10時35分、木々の生い茂る柿田川公園へ到着しました。



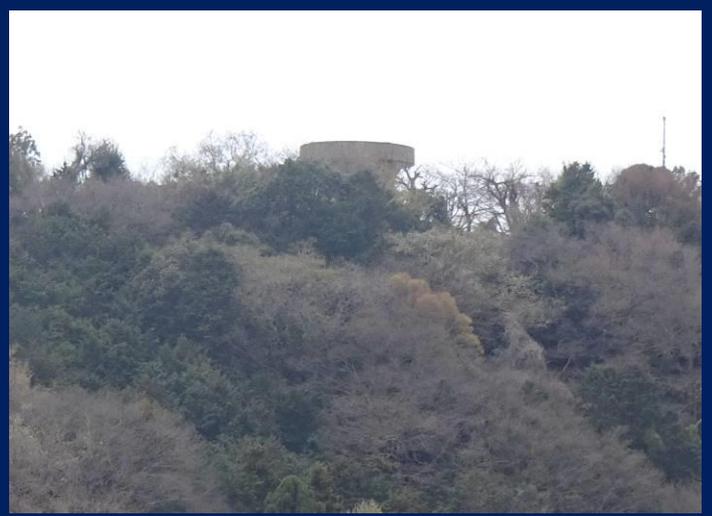
泉頭城城跡 柿田川源流の第1展望台～製紙工場井戸跡の第2展望台

柿田川公園は、1986年（昭和61年）4月、町民の憩いの場として柿田川の上流部に開園。公園になっている一帯は泉頭城（いずみかしら）城の跡です。大坂冬の陣で大坂城を攻め落として江戸政権を磐石にした徳川家康が、泉頭城を大改修して隠居城としようとしたのですが翌年に死亡、幻となってしまいました。集合写真を撮って第1展望台へ、三島溶岩流から富士山の伏流水が湧き出ている柿田川の源流が見えました。第2展望台へ、昔の製紙工場井戸跡からコンコンと水が湧き出ているブルーの色がなんともきれいです。



湧水広場～蓮華寺～柿田橋 眼鏡橋 日本一短い一級河川柿田川 狩野川に合流

第2展望台を出て、湧水広場の方へ歩いて行くと清掃をしていたボランティアの人が「柿田川から天然のアユが池に入ってきているよ」と教えてくれて、一同「いたいた」と川面を見えています。木道を進んで行くと淡い白緑の山桜が咲いていました。公園を出て一般道へ、蓮華寺のシダレサクラのピンクとユキヤナギの白のコントラストが鮮やかです。柿田橋へ到着。柿田川は日本3大清流のひとつで、日本一短い一級河川です。眼下に見える眼鏡橋は、1909年（明治42年）に竣工。崩れてしまっていますが日本土木学会の土木遺産に指定されています。柿田川はこの先で狩野川に合流、遠くにこれから上る本城山展望塔が見えます。



徳倉橋～土の感触を踏みしめ 12時15分山頂へ 北に柿田川と三島市街地

柿田橋を出て一般道を南下、徳倉橋を渡り本城（ほんじょう）山をめざします。畑地の桃の花を見て左手前方にはお寺の墓地が見えてきました。急斜面の上の方に墓参の人が、「歳をとったら健脚の人でないと大変ね」とどなたか。案内板があり「山頂広場まで8分」の掲示、みなさん土の感触を踏みしめてほぼ8分以内で山頂へ。時刻は12時15分。本城山は戦国時代、北条氏綱（1486～1541年）が戸倉城を築きました。標高76m、山頂展望塔に上ると360度のパノラマが広がっています。北の方向眼下に柿田川が狩野川に合流する地点が見え、その先に柿田橋、柿田川公園の森、三島市街地が広がっています。



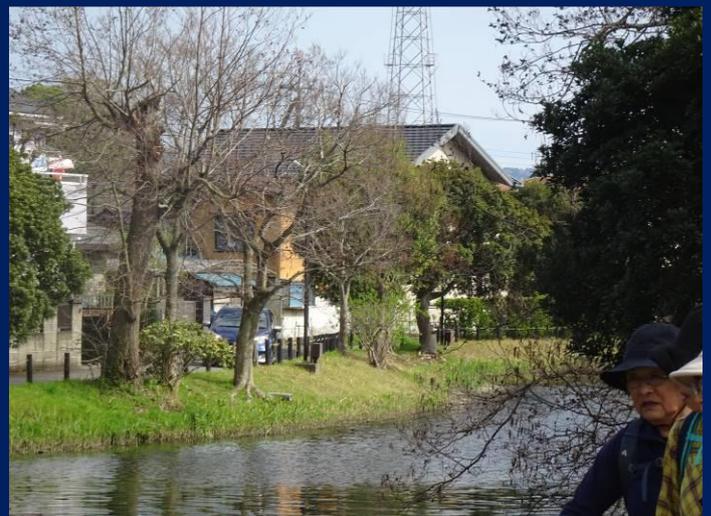
昼食タイム 展望塔 360度のパノラマ 東に箱根連山 南に沼津アルプス

東屋の下とベンチに分かれて昼食タイム、勅使河原さんはシートを敷いていつもの昼食スタイル。チョコレートの差し入れなどもありお喋りに花が咲きます。展望塔へ上ります。東から南にかけては箱根連山から伊豆の山々、ここで思い出すのが2014年5月18日に吉野さんがリーダーで行った「三島の湧水群を歩く」でこの塔に上ったときのこと。青松さんが「東海道を歩くで小田原から箱根を越えて三島の街へ下りて来たときは真っ暗、リーダーの後ろに着いて必死に歩いた」と話され、「凄いですね」と応えたこと。南の方に沼津アルプスの山並み、河野さんが「いつか歩いてみたいね」と一言。13時少し前に下山開始です。



ペチコート ホウセンカ ボケ～14時10分 源兵衛川終点中郷温水池

空き地に色とりどりの花が咲いていました。みなさんが話しているのを次のようにメモしたのですが、ペチコート（黄色の花）、ホウセンカ、ボケ（ピンク、オレンジ色）、自信がありません・・・ 再び徳倉橋を渡ってここからは幹線道路を三島駅方面へ進みます。14時10分、中郷（なかざと）温水池へ着きました。中郷温水池は、源兵衛川の終点に位置し、稲作用水として低温な湧水を一定期間貯留し、あたためる池として昭和28年に整備されました。水辺の道を進み、ベンチのあるところで水分補給の小休憩。温水池の中ではたくさんの鳥が羽を休め餌をついばむ長閑な雰囲気、人もゆったりとできる空間です。



南田町広場～水の苑緑地～源兵衛川木道～三石神社～桜家鰻店前へ

国道1号の日本橋から119.9kmの所の交差点を渡り南田町広場へ入ります。カワセミのバードウォッチングをしているカメラマンが数人、源兵衛川に架かる木橋を渡り一般道に出て水の苑緑地に入ります。源兵衛川水辺に白いカラーの花が群生しています。前からくる何組かのグループと木道を譲り合い進みます。伊豆箱根鉄道三島広小路駅近くの踏み切りの警報音が鳴り始めたのでカメラを持って待ち構えているとブルーの下り電車が走ってきました。三石神社の境内を進んで行くと、香ばしいにおいができて桜家鰻店の前へ。朝立ち寄ったときは予約を取る人で賑わっていましたが、今は店へ入る順番待ちのようです。



旧東海道～三嶋大社～文学の道～菰池公園～16時00分 三島駅

旧東海道を朝とは反対方向の東へ進みます。15時10分、三嶋大社へ到着。神池の垂れ桜が満開、大勢の人がスマホで写真を撮っていました。三嶋大社門前名物福太郎餅をお土産に購入、店内でも食べられるとこのことで2ヶお茶セットをいただきました。三嶋大社を出て、桜川に沿ったゆるやかな坂、三島の地に関わりのある文学者や文学碑が建ち並んでいる文学の道を上って行きます。菰池公園でクールダウン。到着予定時間16時～16時30分設定の最短16時丁度にJR三島駅へ到着。2万7000歩、17kmの「春うらら 富士山の伏流水湧く三島へ」でした。



今回のコースは、2014年5月18日に吉野さんがリーダーで行った「三島の湧水群を歩く」（吉野 勅使河原 熊坂 高橋文 菊池 青松秀 小野里 新谷 山内 河野 加来 福士 栗田 長井 清水正 高木 市村 横田 一般1人計19人）をベースに作りました。当初予定日の3月18日が雨予報で、翌日の19日開催とさせていただき参加できなくなった方が何人かいました。4月と5月の東海道五十三次ウォークで、三島を訪れた際に湧水群の雰囲気をもっと味わっていただければと思います。（いちむら記）